主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１１９回（令和元年１２月）情報処理技能検定試験（表計算）１級問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。
２．使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
３．データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
４．試験時間は３０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

得ＣＯ	商ＣＯ	数量
101	11	1,556
102	11	1,983
103	11	1,496
104	11	1,839
101	12	1,693
102	12	1,766
103	12	1,228
104	12	1,464
101	21	2,080
102	21	1,238
103	21	1,436
104	21	2,050
101	22	1,325
102	22	1,510
103	22	1,427
104	22	2,060

＜得意先テーブル＞

得ＣＯ	得意先名
101	上野商事
102	ナカガワ
103	中尾総業
104	下川商店

＜商品テーブル＞

商ＣＯ	商品	原価
11	A	960
12	B	840
21	C	880
22	D	920

＜割引率表＞

数量	商ＣＯ	
	10 番台	20 番台
1以上　1,500未満	7.2%	8.1%
1,500以上　1,800未満	7.4%	8.3%
1,800以上	7.6%	8.5%

＜判定表＞

数量　　請求額	判定
2,000 未満　かつ　200 万以上	＊＊＊
2,000 未満　かつ　150 万以上　200 万未満	＊＊
それ以外	＊

＜処理条件＞

１．＜出力形式１＞のような請求額一覧表を作成しなさい。（ ――― の部分は空白とする）
２．得意先名は＜得意先テーブル＞を表検索しなさい。
３．商品名は＜商品テーブル＞の商品を表検索し、“商品”の文字を関数または演算子を使用して結合しなさい。
　　（例　Ａ商品）
４．定価＝原価×1.28（10 位未満切り捨て）　※原価は＜商品テーブル＞を参照する。
　　売上額＝定価×数量
５．割引率は＜割引率表＞を参照し、求めなさい。（%の小数第１位までの表示とする）
　　割引額＝売上額×割引率（10 位未満四捨五入）
　　請求額＝売上額－割引額
６．判定は＜判定表＞を参照し、求めなさい。
７．合計を求めなさい。
８．＜出力形式１＞と同じ形式で、商品名がＤ商品以外で請求額が 200 万以上を抽出しなさい。
　　表題は“請求額一覧表（Ｄ商品以外・請求額 200 万円以上）”とし、数量の降順に並べ替えなさい。
９．請求額一覧表を基に＜出力形式２＞のような処理をしなさい。
10．請求額一覧表を基に＜出力形式３＞のような処理をしなさい。（平均は整数未満四捨五入の表示とする）
11．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
12．＜出力形式２＞の割引額を得意先名別の縦棒グラフにしなさい。
　　タイトルは“得意先別の割引額”とし、凡例は“割引額”とする。

＜出力形式１＞

請　求　額　一　覧　表

得ＣＯ	得意先名	商ＣＯ	商品名	数量	定価	売上額	割引率	割引額	請求額	判定
（　途　中　省　略　）										
――	合　計	――	――		―		――			―

＜出力形式２＞

得意先別集計表

得意先名	数量	売上額	割引額
上野商事			
ナカガワ			
中尾総業			
下川商店			

＜出力形式３＞

商品名がＣ商品以外の請求額の平均	
数量が 1,300 以上 2,000 未満の割引額の合計	
定価が 1,200 円以下で売上額が 140 万円以上の件数	